4年「泣いた赤おに」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	友達のためなら やってやる	心でつながる友達もいるよ	自分のことを思ってくれる 友達がきっといるよ
導入	赤鬼が、人間と友達になって、仲よく暮らしたいと思っていました。赤鬼は、人間と友達になれたのでしょうか		
展開前段	<ul style="list-style-type: none"> ○人間に逃げられて、赤鬼は、どんな気持ちになったでしょう ○青鬼が芝居をしようと言ってくれたとき、赤鬼は、どんなことを思ったでしょう ○張り紙を読んで、赤鬼は、どんなことを思ったでしょう 		
つなぎ発問①	<ul style="list-style-type: none"> ○青鬼は、どうして、自分がやられてしまう芝居をしたのでしょうか ○青鬼は、自分の住処に居て、どんなことを思っていたでしょう ○赤鬼にとって、人間の友達と、青鬼の友達とは、どんなところ 	<ul style="list-style-type: none"> ○青鬼は、どうして、自分がやられてしまう芝居をしたのでしょうか ○もしも、青鬼が、赤鬼と人間たちと仲よくやっているところを見たら、どんなことを思うでしょう ○赤鬼と青鬼は、この後、離れて 	<ul style="list-style-type: none"> ○青鬼は、どうして、自分がやられてしまう芝居をしたのでしょうか ○もしも、青鬼が、赤鬼と人間たちと仲よくやっているところを見たら、どんなことを思うでしょう ○赤鬼が、この後も、どのような

	ろが違うでしょう	いる相手に向かって、どんなことを言い合うとステキでしょう	暮らしをしていくとステキでしょう
展開後段	「どこまでも友達」とは、どのような友達なのでしょう	友達とのつながりは、どういうものなのでしょう	友達は、どうして大切なのでしょうか
つなぎ発問	目の前にいて、楽しく過ごす友達も大切ですね。でも、離れていても、きっと、自分のことを思ってくれていると思える友達もいいですね	「私と君は友達だ」と言い合える友達もいいですね。また、細かい糸のように、でも、きちんとつながっている友達もいるといいですね	いつも、自分のことを心配してくれたり、気遣ってくれたりする人がいると、何て心強いでしょう。それが誰とは分からなくても、きっと、そばにいます。ステキですね
②	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか では、振り返りを書きましょう		
振り返り			